

議会だより

さまに

No. 26

様似町議会

2025.11.7



※ 様似町のホームページに「議会だより　さまに」のカラー版を掲載しております。

～ 主 な 内 容 ～

◆令和7年9月定例会

10月臨時会 P 2~3

◆一般質問（5名・10件） P 4~9

◆常任委員会報告 P 10~11

◆新任議員紹介・研修会 P 12



◀議会だよりHPコード

No. 26 「幌満峡の秋」

なかなか行く機会が少ない幌満峡ですが、私たちに心に残る景色をプレゼントしてくれます。

自然豊かな様似、大切にしたいです。

移住体験住宅について
令和6年度の利用実績について
本町では、平成28年から人口減少対策の一環として移住定住、交流人口の増加による地域の活性化を図ることを目的に2棟3戸を整備して事業を実施しています。

6年度は、延べ利用人数34名、滞在日数407日で2棟4名はリピーターでした。年代別では、20代から80代と幅広く、特に70・80代の夫婦が多い傾向にあります。

令和7年、8年の利用状況について
例年6月から9月までの夏季期間に利用希望が集中し、本年も7月、8月とも全3戸が予約で埋まり、6か月以上

一期4年間の総括について
町長、4年間ですね、色々な事があったと思います。給食問題、過去に町長と夜遅くまで時間をかけて、給食センターがいいのか、スクールランチがいいのかと、議論したことを見えておりました。また、人口減少が中々止まりません。高齢化は、この4年間かなりに進んでおります。一次産業にどういったことで、随分廃業された方もいらっしゃいます。その方々を見ていてながら、どういふふうに感じていたのか。副業を許可した方が、その副業に対してもどういうふうに思つておられるのか。老人福祉に対しては、デマンド交

通、福祉タクシーなど、老人福祉に対して、いろいろと力を注がれました。町長には、まだ公約上、積み残した課題があると思っておりました。観光面についてもお聞きしたいと思います。日高山脈襟裳十勝国立公園に指定されながら1年、交流人口のことですが、各町と比べて様似町は、小さな数字でした。なぜそれも教えてください。アポイ岳ジオパークについてお伺い致します。平成20年頃からのジオパークについてお伺いします。

大発生による水産物に及ぼした被害は甚大であり、その回復がまだ図られていない状況です。町民がどれ位関心を持っています。過去から色々と言われておりますが、何%

たら観光客が増えるのだろうと期待しておりますが、全くどんどん衰退していく一方です。町民がどれ位関心を持っています。過去から色々と言われておりますが、何%の人がこのジオパークに対して、関心を持つておられるのか。教えてください。このジオパークに対して、アンケートを取つて今後の進め方を検討できないのかどうか、その辺もちょっと教えてください。最後ですが、北の流水、頓挫してしまった。町長は数字を言わなかつたのですが、返してもらえたのだろうけども、もう9千万円位が使われてしまつていて。これが、その辺もちょっと教えてください。最後ですが、北の流水、頓挫してしまつた。町費を充てているわけですね。返してもらえたのだろうか。返してもらえたとしたならどうするのか。その責任の取り方を教えてほしい。以上よろしくお願い致します。

質問①



坂本好則議員

移住体験住宅について
令和6年度の利用実績について
本町では、平成28年から人口減少対策の一環として移住定住、交流人口の増加による地域の活性化を図ることを目的に2棟3戸を整備して事業を実施しています。

6年度は、延べ利用人数34名、滞在日数407日で2棟4名はリピーターでした。年代別では、20代から80代と幅広く、特に70・80代の夫婦が多い傾向にあります。

令和6年度までは一律7日以上90日未満の移住体験として募集していましたが、今年度から、6か月以上の長期滞在に1戸、町内事業者でのインターネットシップ希望者に2戸の募集をしています。

利用者の居住地（管内、道内、道外）について
利用者の中、内、道外）について
利用者の居住地について
は、令和6年度18組のうち道外が17組、管内以外の道内が1組でした。

要因として、冬の北海道の暮らしに自信が持てないと理由から断念するケースが目立っています。このことから長期利用を促し、冬季間の生活体験等夏季期間限定からス

料金については、近隣町の状況を勘案して、光熱費込み1名日額1,800円、冬期は2,100円です。長期の移住体験者には、光熱水費燃料費込みで月額4万円とし

ています。
インターネットシップ利用については令和6年度から据え置きにしています。

令和6年度までは一律7日以上90日未満の移住体験として募集していましたが、今年度から、6か月以上の長期滞在に1戸、町内事業者でのインターネットシップ希望者に2戸の募集をしています。

質問①



佐々木敏議員

の長期滞在が1組1名、イチゴ農家のインターインシップで2組3名の計3組4名の利用がありました。

利用料金、利用条件について
令和28年度の制度導入以降、令和6年度までに、89組148名に利用していただきましたが、4組7名が完全移住しています。1組はご主人が様似町出身のご夫婦、3組がJRバスの運転手として採用になり移住しています。

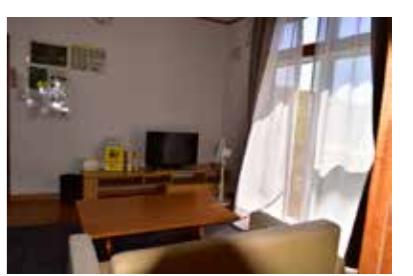
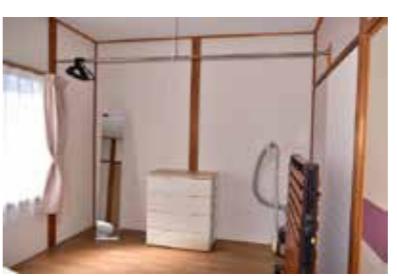
今後の課題について
かけたの夏季期間が多く、リピーターや、町民との交流を求める方も増え関係人口施策としては一定の成果が出ていると感じています。

しかし、移住につながったケースは少なく移住促進施策としては思うように成果をあげられていないのが実情です。

令和4年度21日、令和5年度31日、令和6年度24日、平成28年度の制度導入以降、令和6年度までに、89組148名に利用していただきました。

利用者の移住実績について
本町は都市部からの交通アクセスの悪さ、医療福祉面の不安等完全移住のハードルは高くなっています。また、移住の際の住宅についても、程度の良い物件を提供できないこともあります。

本町は都市部からの交通アクセスの悪さ、医療福祉面の不安等完全移住のハードルは高くなっています。また、移住の際の住宅についても、程度の良い物件を提供できないこともあります。



【荒木町長】
一次産業全体としては、自然環境の変動要因を受けやすい生産への影響が大きく表れております。4年前に発生した太平洋沿岸での赤潮の

テップアップを目指し、序人材確保、一次産業はじめ各事業者に呼びかけ、インターネットシップとして若い世代に来てもらう事にシフトを変更し、成果を上げていきたいと考えています。

ジオパークを活用しようとする、観光だけじゃない、子供の教育などか、いろんなものも加味した中でこのジオパーク進めました。いつになつてまいりました。



内容は一般社団法人自治体広報広聴研究所代表理事の金井茂樹氏による「伝わる議会広報のポイント」でした。読みやすく、理解される議会広報の在り方や『伝える』と『伝わる』の違い、難しいから理解してもらえる議会広報へ。レイアウトや見出し、リード文等他市町村の議会広報を例に挙げての講演でした。私達議会広報委員もよう分かりやすい議会だよりを目指してまいります。

令和7年8月19日、札幌コ
ンベンションセンターにて開
催されました。参加議員は、
佐々木議員、明賀議員、砂子
澤議員、議会事務局職員の4
名でした。

内容は、一般社団法人自治
体広報広聴研究所代表理事の

令和7年度北海道町村議会 議長会 広報議員研修会

議員紹介

社会文教常任委員会



このたびの町会議員の補欠選挙により、町議会議員になりました。

私は、町内の皆さんにご存知のように、ハヤサカスボーツ店の代表の早坂拓三（65歳）でございます。豊かな発想で進化する様似町を目指す。覚悟と責任を持つて頑張つて行きたいと思いますのでよろしくお願い致します。

覚悟と責任を持って頑張つて行きたいと思いますのでよろしくお願ひ致します。

豊かな発想で進化する様似町を目指す。

委員長 水野 洋一
副委員長 佐々木 敏
委員 鈴木 隆
委員 明賀 孝子
委員 砂子澤 富美子

議会運営委員会

總務產業常任委員會

委員長 佐々木 敏
副委員長 坂本 好則
委員 小野 哲弘
委員 水野 洋一
委員 鈴木 隆
委員 明賀 孝子

議会運営委員会

委員長 坂本 好則
副委員長 佐々木 敏
委員 水野 洋一
委員 根城 悅司
委員 鈴木 隆

議会広報常任委員会

委員長 鈴木 隆
副委員長 根城 悅司
委員 水野 洋一
委員 佐々木 敏
委員 砂子澤 富美子

議会は、どなたでも傍聴でき、今後の町の方向性を聞くことができる良い機会です。定例会や臨時会の傍聴は事前の連絡は必要ありません。

町民の皆さん、お待ちしております。

わっていますが、私はそれが当たり前のこととして、さすが北海道、様似の自然の壮大さかなど感じてきました。春先の山菜の宝庫さ、秋には山葡萄、栗、キノコと。海の魚もたくさん揚がります。今は街中、下水道もいち早く完備され、ますます住みやすい様似町になつていければと思つています。

次回
定例会の
予定は。。。.

議会広報常任委員会

編集後記